

小宮字日本支典所

林 雍尾臣著

卷一

ホ 2
500



300

本居 豊顯 閱
小中村 清矩
林 雍瓦臣 著

卷之一

小學子日本文典入門

明治五年 及權免許
二月六日片
立産靈舎書藏版

自序

今ヤ開明ノ主運ニ際シ文武互ニ起リ物
皆正シキニ挽回スト虽ドモ獨リ文法ノ學子ニ至
リテハ措キテ問フモノ無キガ如ク駄舌支離
ノ訛語依然トシテ編輯作文ノ上ニ行ハル實
ニ一大 痼疾ニシテ具眼才識アル者豈痛慨
セザルヲ得ンヤ因ッテ今幼童女兒ノ為ニ務
メテ迂ヲ避ケ要ヲ摘ミ簡易ニシテ能ク此
科ノ綱領ヲ理會シ得ベカラシム分チテ二
卷トナシ題シテ小學子日本文典入門ト名ク小

利
170

東京
學校



小日本文典入門

序

學子立重生先^ッ此書ニ由リテ作文ノ針路ヲ誤
ル十カレ

明治十四年二月二三日

林 穰彦 臣 イフ



小學日本文典入門

凡例

- 一 此書正鵠トスル処專ラ第二篇第十章ノ附録
ニ示セル語格文則講習法ニ由リテ之レが格法ヲ
熟復諳誦セシムルニアリ若シソレが法ヲ踐マ
ガル片ハ到底歌筵文場ニ臨ミ實用ニ供スル
ヲ能ハガルモノトス
- 一 此編速クアガ多年斯科教授ニ従事スルノ末
實驗ノ意匠ニ出ヅルモノニシテ更ニ朝ノ造為
ニ脱稿セルモノノ類ニアラス其順序方法ノ

如キ未^ダ必^ズシモ勿^シキヲ得^タリトスルニ非^ズト
 虽^ドモ學生通讀玩味セバ自然^ニ初學階梯
 ニ頗^ル簡捷ナルヲ覺^ユベシ
 一言詞ノ類別ソレガ稱謂等ノ如キ先哲ノ所說或
 ハ未^ダ漠^トシテ其義ヲ盡^サバルアリ或ハ迂遠ニ
 シテ幼童女兒ノ耳ニ入り難キアリテ此科授
 受ノ際教員生徒互ニ之^レニ苦^シム故^ニ古キ
 ヲ襲用シガタキハ止ム^{コト}ヲ得^ズ意ヲ加ヘテ
 改良セリ然^レモ為^スニ邦語格法ノ真ヲ失ヒ
 ソレガ主^ニ意ヲ過^ツガ如キハ毫^モ有^ルコト無^シ

小學日本文典入門卷之一目次

第一篇 立音韻并假字論

- 第一章 五十音及假字之略說
- 第二章 五十音之系位畧圖說
- 第三章 母音子音之差別
- 第四章 阿也和三行イウエ音之差別
- 第五章 濁立音
- 第六章 半濁立音
- 第七章 急促音
- 第八章 撥立音

第九章 長呼音及累疊音
 第十章 複音異樣片假字
 第十一章 假字用例

第二篇 言語論

第一章 言語之成立及言詞靈辭之差別
 第二章 言語之類別
 第三章 言之類別
 第四章 詞之類別
 第五章 詞之轉用
 第六章 詞轉用自他之辨別

第七章 詞轉用格例之類別
 第八章 詞轉用系位指掌圖解
 第九章 靈辭之類別
 第十章 語格講習日之方法

第一章 總論
 第二章 活語作文ノ格法
 第三章 書作文家ノ日用ニ關クベカラザルノ一科トス
 第四章 故ニ幼童必ズ百科入學ノ指針トスベキモノゾ
 第五章 此書分チテ四篇トナス則チ音韻并假字論言語論



小學日本文典入門卷之一



本居 豊顯 閱
 小中村 清矩
 林 雍尾臣 著

總論

文典ハ活語作文ノ格法ヲ論ズルノ學ナリ蓋レ讀
 書作文家ノ日用ニ關クベカラザルノ一科トス
 故ニ幼童必ズ百科入學ノ指針トスベキモノゾ
 此書分チテ四篇トナス則チ音韻并假字論言語論

文章論 歌謠論 是ナリ

第一篇 音韻并假字論

第一章 五十音及假字之略説

〔五十音〕トハ國語ノ音數五十個ナルガ故ニ謂ヘリ

〔假字〕トハ邦語一言一音ノ符標ニ漢字音ヲ假用スルモノナレバ謂ヘリ故ニ假字ノ數亦五十アリ

而テ假字ニ四躰ノ別アリ則〔平假字〕〔片假字〕〔異様平假字〕〔万葉假字〕是ナリ但〔万葉假字〕ノ書躰ニ

楷書行書ノ二様アリト虽モ幼童ニ用尠ケレバ總テ載セズ

〔平假字〕ナルハ即チ「あいうえお」「かきくけこ」「さしすせろ」「たちつてと」「なにぬねの」「はひふへほ」「まみむめも」「やいゆえよ」「らりるれろ」「あるがゑを」ト書クガ如シ

〔片假字〕ナルハ即チ「イウエオ」「カキクケコ」「サシスセソ」「タチツテト」「ナニヌネノ」「ハヒフヘホ」「マミムメモ」「ヤイユエヨ」「ラリルレロ」「ワヰガエヲ」ト書クガ如シ

〔異様平假字〕ノ躰ナルハ即チ「あいさね」「おんたを」

古語志を勢之^レ古^レ成^レ多^レ也^レ那^レ尔^レ勞^レ法^レ此^レ也^レ知^レ海^レ屋^レ
不^レ万^レ之^レ其^レ欠^レ色^レ必^レ以^レ申^レ在^レ与^レ解^レ里^レ体^レ也^レ故^レ已^レ爲^レ字^レ惠^レ
茂^レ十^レド^レヤ^レウ^レニ^レ書^レク^レガ^レ如^レシ

第二章 五十音之系位畧圖說

五十音ハ五列十行ニ系統縱横ノ定位ヲナセリ
其縱ノ行ヲ縱行ト云ヒ横ノ列ヲ横列ト稱ス乃
左ノ圖式ノ如シ

一
二
三
四
五
等
等
等
等
音
音
音
音
音

五 第十音系位圖式
第一阿縱行
第二加縱行
第三佐縱行
第四多縱行
第五奈縱行
第六波縱行
第七麻縱行

マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	あ	阿
ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	い	伊
ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	う	宇
メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	え	衣
モ	ホ	ノ	ト	ワ	コ	お	於

第八也縦行

第九良縦行

第十和縦行

ワ	ラ	ヤ
ヰ	リ	イ
ウ	ル	エ
ヱ	レ	ヰ
ヲ	ロ	ヨ

第三章 母音子音之差別

〔母音〕トハ子音ヲ生ズル聲ナルガ故ニ謂ヘリ音數五個アリ即ちあいうえお是ナリ

〔子音〕トハ母音ヨリ生ズル聲ナルガ故ニ謂ヘリ音數四十五個アリ即ちカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤイウエヨヲリルレロワヰヱヲ是ナリ

第四章 阿也和三行イウエ音之差別

〔阿也〕和〔三行イウエ音〕ハ互ニ相混同シテ時俗口語ニハ殆言ヒ別キカタシト雖モ其音質阿行ノイウエ音ハ單一ニシテ輕ク也行ノイウエ音ハ重複ニシテ重シトス故ニ之ガ假字ニハ字ノ右肩ニ重ナレル處ノ〔カ〕的ノ点ヲ施シ以テ阿行ノ音ト相識別ス是ヲ〔重點〕ト名ク也行ナルハ即ち和行ナルハ即ちガノ如ク記スガ如シ〔平假字〕ニ於ケルモ亦同シ

第五章 濁音

〔濁音〕トハ迂聲ニ濁リテ呼ビ做ス音ヲ謂ヘリ故
ニ之レガ假字ニハ字ノ右肩ニ震ル處ノ〔ゝ〕的ノ點
ヲ施シ以テ清音ト相識別ス是ヲ〔震點〕ト名ク音
數加佐多波ノ四行二十個アリ即チガギグゲゴザ
ジズゼゾダヂヅデドバビブベボト書クガ如シ
〔平假字〕ニ於ケルモ亦同ジ

第六章 半濁音

〔半濁音〕トハ籠メテ急ニ放ツ聲ニ呼ビ做ス音ヲ
謂ヘリ故ニ之レガ假字ニハ字ノ右肩ニ中空ナル
處ノ〔◦〕的ノ點ヲ施シ以テ正音ト相識別ス是ヲ〔圈

點〕ト名ク音數〔波行〕ノ五個トス即チハピポペホト
書クガ如シ平假字ニ於ケルモ亦同シ

第七章 急促音

〔急促音〕トハ急促ル聲ニ呼ビ做ス音ヲ謂ヘリ故
ニ之レガ假字ニハツノ字ノ右肩ニ半濁音ノ如ク
〔◦〕的ノ〔圈點〕ヲ施シ以テ正音ノ〔ヅ〕ト相識別ス即チ
〔片假字〕ナルハ〔ッ〕平假字ナルハ〔プ〕ト書クガ如シ

第八章 撥音

〔撥音〕トハ撥スル聲ニ呼ビ做ス音ヲ謂ヘリ故
之レガ假字ニハ即チ〔片假字〕ナルハ〔ン〕平假字ナルハ

「ん」ト書クガ如シ

第九章 長呼音及累疊音

〔長呼音〕トハ聲ヲ長ク引イテ呼ビ做ス音ヲ謂ヘリ故^エニ之^レガ假字ニハ字ノ下ニ「^一」的ノ如ク點ヲ長ク引イテ符標トス是ヲ〔長点〕ト名ク例之「^アーヤー」ヲ「^{ウー}」エ「^{ナド}」ヤウニ書クガ如シ
〔累疊音〕トハ同聲ヲ疊ミ累ネテ呼ビ做ス音ヲ謂ヘリ故^エニ之^レガ假字ニハ字ノ下ニ「[、]」的ノ點ヲ施シ以テ符標トス是ヲ〔疊點〕ト名ク例之「^バヤ、ヨ、タ、チ、ハ」ナド様ニ記スガ如シ

第十章 複音異様片假字

〔複音異様片假字〕トハ二音ニ呼ビ做ス一種異躰ノ片假字ヲ謂ヘリ即チ「^ド」^{トキ}「^{トキ}」^{トキ}「^{トキ}」^{トキ}等ノ如キ是ナリ

第十一章 假字用例

〔假字用例〕トハ筆記上ニ時俗口語ノ訛謬ヲ正シ以テ事物ヲシテ彼ト是ト相錯誤スルノ弊ナカラシムルヲ謂ヘリ例之「^バ粟ハ^アハ」ト書クベキヲ「^アワ」ト誤リ「^泡ハ^アワ」ナルヲ「^アハ」ト誤リ「^藤ハ^フヂ」ト書クベキヲ「^フジ」ト書キ「^{富士}ハ^フジ」ナル

ヲフデト書キ誤ルガ如シ但其用例浩漭ニシテ
僅々小冊子ノ本文中ニ挿入シ得ベキモノニア
ラザレバ別ニ附録ニ舉ゲ以テ臨時索引ニ便ズ

第二篇 言語論

第一章 言語之成立及言詞靈辭之差別

言語ハ心ノ思想ヲ音ニ發シ以テ覆載万有ニ相
通ズルノ具ナリ乃音文ヲナシテ其象ヲ生ズル
ヤ固有性質ニ依リテ之ヲ三ツニ分類ス則言詞靈
辭是ナリ

言ハ言語ノ躰ニシテ呼ビ做ス處ノ事物ノ稱ヲ

指シテ謂ヘリ故ニ(躰語)又(名語)氏稱ス

詞ハ言語ノ用ニシテ事物ノ運用上ヲ指シテ謂
ヘリ故ニ(用語)又(動語)氏稱ス

靈辭ハ言語ノ精神ニシテ其事物運用上ヲ更ニ

主宰シテ千變万化ノ目的ヲ達セシムルモノヲ
指シテ謂ヘリ故ニ(助語)又(テニヲハ)氏稱ス例之

バ鶏ハ朝早く起キテ鳴クト言ヘル語ヲ以テ示

サバ鶏朝ハ言早く起キ鳴クハ詞ハテハ靈辭ナ

リ又犬ハ夜半ニ人ヲ吠ユト言ヘル語中犬夜半

人ハ言吠ユハ詞ハニヲハ靈辭ナルガ如シ

第二章 言語之類別

〔言語〕ハ一ニ語氏稱セリ之ガ躰ニ數種アリト雖モ約スレバ僅ニ〔談話〕〔討論〕〔問答〕〔講談〕ノ四種ニ過ギザルモノトス

〔談話〕トハ應接上ニ相談ルヲ謂フ

〔討論〕トハ互ニ是非ヲ相難スルヲ謂フ

〔問答〕トハ唯問題ニ應ジテ相答辨スルヲ謂フ

〔講談〕トハ聽衆ニ對シテ道理ヲ説明スルヲ謂フ

第三章 言之類別

〔言〕ハ思ヲ口ニ發シテ未ダ運用ヲ始メザル固有ノ俚ヲ

謂ヘリ性質ニ依リテ之ヲ八種ニ分類ス〔形躰言〕

〔性情言〕〔兼用言〕〔省略言〕〔代名言〕〔複合言〕〔員數言〕〔外國言〕是ナリ

〔形躰言〕ハ一ニ〔有形名言〕氏稱シテ躰ヲ存シ形有ルモノヲ謂ヘリ即チ〔猫〕〔雀〕〔花〕〔瓜〕〔筆〕〔紙〕等ノ如キ是ナリ

〔性情言〕ハ一ニ〔無形名言〕氏稱シテ性ノミ存シ形無キモノヲ謂ヘリ即チ〔心〕〔命〕〔力〕〔齒聲〕〔味〕等ノ如キ是ナリ

〔兼用言〕ハ一ニ〔轉用名言〕氏稱シテ詞尾ヲ轉シ用

ヲ兼ヌルモノヲ謂ヘリ即チ光氷節扇學教等ノ如キ是ナリ

〔省略言〕ハ詞尾ヲ省キテ一種ノ言ニ呼ビ做スモノヲ謂ヘリ即チ雲淀宿歌螺旋車等ノ如キ是ナリ

〔代名言〕ハ人及事物ノ名ノ代ニ呼ビ做スモノヲ謂ヘリ即チ吾汝某誰是彼此其等ノ如キ是ナリ

〔複合言〕ハ他ノ言詞ヲ一ノ言ノ上ニ合セ加ヘテ一言ニ呼ビ成スモノヲ謂ヘリ即チ春霞河霧野火

谷水卷紙假字文等ノ如キ是ナリ 〔員數言〕ハ物ノ員數ヲ指シ示スモノヲ謂ヘリ即チ

一ニ三四五六七八九十百千万等ノ如キ是ナリ

〔外国言〕ハ外国ノ言ヲ我が邦語ニカリテ呼ビ做スモノヲ謂ヘリ即チ晴天暴風時辰美術勉強試驗

ランブ コツプ 等ノ如キ是ナリ

第四章 詞之類別

〔詞〕ハ言ノ更ニ運用スルモノヲ謂ヘリ性質ニ依リテ之ヲ四種ニ分類ス〔作用詞〕〔形狀詞〕〔複合詞〕〔外

國詞〕是ナリ

〔作用詞〕ハ一ニ獨立詞ト稱シテ獨リカチテ用ヲ作スヲ指シテ謂ヘリ即チ遊ブ務ムル見ル聞ク流ル、吹

學
類
之
一

ク等ノ如キ是ナリ

〔形状詞〕ハ一二(補副詞)ニ稱シテ獨立タズ他ノ言
詞ニ副リテ意味形状ヲ補ヒ助クル詞ヲ謂ヘリ
即チ清ク流ルル寒ク吹ク烈ク勢ムル樂シク遊ブ等
ノ清ク寒ク烈シク樂シクノ如キ是ナリ

〔複合詞〕ハ他ノ言詞ヲ一ノ詞ノ上ニ複セ加ヘテ一
詞ニ呼ビ做スモノヲ謂ヘリ即チ追驅クル往逢フ
言交ス面白ク蟲食ム冬籠ル等ノ如キヲ指セリ
〔外国詞〕ハ漢洋語ノ下ニ佐行ノ變格ナル爲字ノ用
格ヲ加ヘ我ガ邦語ニ呼ビ做ス一種ノ詞ヲ謂ヘ

リ即チ奏スル禁ズル論ズル檢スルスリプスル等ノ
如キ是ナリ

第五章 詞之轉用

〔詞之轉用〕トハ詞尾ヲ數様ニ轉化シ一詞ニシテ
能ク百般ノ目的ニ應用セシムルヲ謂ヘリ之ヲ
九種ニ分類ス則チ將然詞〔續用〕既然詞〔斷止〕方然詞
〔續躰〕方然詞〔已然詞〕〔續用〕方然詞〔斷止〕已然詞〔續躰〕
已然詞〔命令詞〕是ナリ
〔將然詞〕ハ一二(未來詞)ニ稱シテ其ヲ未然ニ為
サント欲スル意ト未ダ爲サル意トヲ示ス詞ナ

小
日
本
文
典
八
月
卷
之
一
十

リ例之ハ「清書ハ明日書カ」俗言ニ云フ(セイレイヨ)未名刺ハ

書カズ俗言ニ云フ(マダ)等ノ書カ俗言ニ云フ(ハフスカウ)如シ

〔續用既然詞〕ハ一二(全過去詞)氏稱シテ其ヲ既

ニ為了リ過キ去リレ意ヲ示シ且ツ之ガ詞尾他ノ用語ニ續ク

性ヲ有セル詞ナリ例之ハ「手紙昨日既ニ書キタリ」俗言ニ云フ(ステカミ)

返事ハ書キタリハキノフ等ノ書キタリ書キタリハヤカイタ如シ

〔斷止方然詞〕ハ一二(現在斷詞)氏稱シテ其ヲ目

前ニ為ス意ヲ示シ且ツ之ガ詞尾他ノ言詞ニ續カズ

レテ斷レ止ル性ヲ有セル詞ナリ例之ハ「今朝ハ

早ク起ク」人ニ物ヲ教フ等ノ起ク教フノ如シ

但此斷止方然詞ハ「輕起端靈辭」ハモヘニヲノヨリ

マデバ「徒」ノ結尾ヲ兼有ス故ニ「輕結尾詞」ノ名アリ

例之ハ「彼ハ今朝モ晚ク起ク」予ハ早ク起キテ塾

生ニ書物ヲ教フ等ノ起ク教フノ如シ

〔續躰方然詞〕ハ一二(現在續詞)氏稱シテ其ヲ目

前ニ為ス意ヲ示シ且ツ之ガ詞尾他ノ躰語ニ續ク性

ヲ有セル詞ナリ例之ハ「起クル」剋限俗言ニ云フ(オキルコク)

ン「物教フル」人ヲシヘル俗言ニ云フ(モト)等ノ起クル教フ

ルノ如シ

但此續躰方然詞ハ「重起端靈辭」ゾノヤカナ

結尾ヲ兼有シ以テソレガ下文へ續クベキ語脈ヲ
裁斷ス故ニ「重^モ結尾詞」ノ名アリ例之バ「今朝ゾ予
ハ獨リ早ク起クル」^レ「彼ニハ素讀ヲ誰ガ教フル」^レ等
ノ起クル^レ教フル^レノ如シ

「已然詞」ハ一ニ「半過去詞」^レ稱シテ未^ダ全ク過ギ去
ラズ只、目前ニ其了ノ了リタル意ヲ示ス詞ナリ
例之バ「讀^レバ義理通セズ」^レ「見^レバワカル」^レ等ノ「讀^レノ
^レ見^レバ」ノ如シ

但此「已然詞」ハ「反說起端靈辭」^レ「コソ」ノ結尾ヲ兼有
シ以テ下文へ續クベキ語脈ヲ裁斷ス故ニ「反說

結尾詞」ノ名アリ例之バ「務^レガ有レバコソ早ク起
ク^レ」^レ「人ノ爲^レヲ思ヘバコソ物ハ教フル^レ」^レ等ノ起ク
^レ教フル^レノ如シ

「續用方然詞」ハ一ニ「現在續用詞」^レ稱シテ用語ニ
續ク性ヲ有シナガラ現在ノ性ヲ具ヘタル詞ナ
リ例之バ「寒ク吹ク風」^レ「烈シク降ル雨」^レ等ノ「寒ク烈
シク」ノ如シ

「斷止已然詞」ハ一ニ「半過去斷詞」^レ稱シテ詞尾他
ノ言詞ニ續カズ斷レ止ル性ヲ具ヘタル半過去詞ノ
例之バ「風甚寒^シ」^レ「夕立ノ雨ハ急ニ烈^シ」^レ等ノ「寒^シ

烈シノ如シ

但此断止已然詞モ亦輕起端靈辭ハモヘニヲノヨリマデバ徒ノ結尾ヲ兼有ス故ニ輕結尾詞ノ名アリ例之ハ河風ハ殊ニ寒シ雷雨マス烈シ等ノ寒シ烈シノ如シ

續躰已然詞ハ一二(半過去續詞)凡稱シテ詞尾他ノ躰語ニ續ク性ヲ具ヘタル半過去詞之例之ハ寒キ風烈シキ夕立等ノ寒キ烈シキノ如シ但此續躰已然詞モ亦重起端靈辭ゾノヤカナハ結尾ヲ兼有シ以テ下へ續クベキ語脈ヲ裁斷

来セ
来セ
コトバカリハ如何
可尋決
忠順

不故ニ重結尾詞ノ名アリ例之ハ今宵ナム風殊更ニ寒キ風吹キヤマズ夜更ケテズ雨ノ音サヘマス烈シキ等ノ寒キ烈シキノ如シ命令詞ハ一二(下知詞)凡稱シテ其ヲ他ニ希ヒ求ムル詞ナリ例之ハ歌ヲ書キテヨ早く起キヨ清書ヲ書ケ書損ゼヌヤウニ書ケヨ其處ニ居レ待チテ居レヨ急イデハヤク來チト遊ヒニ來ヨ此通ニ為用心為ヨ等ノ書キテヨ起キヨ書ケ書ケヨ居レ居レヨ來來ヨ為為ヨノ如シ

第六章 詞轉用自他之辨別

詞轉用自他トハ詞ノ轉用ニ自ノ性ト他ノ性ト
ハ別アルヲ謂ベリ

熟讀スベシ

凡自他ノ轉用ヲ六種ニ分類シ其四種ヲ自詞ト
シ其二種ヲ他詞トス

〔甲〕ニ屬セルハ則チ為己詞オノカクミスルコトバ為他詞ヒトタダミスルコトバ使他為詞ヒトシテセサスルコトバ如意
然詞シカモバ是ナリ

〔乙〕ニ屬セルハ則チ天然詞オツカラシキコトバ被他為詞ヒトカセラルルコトバ是ナリ
為己詞オノカクミスルコトバハ一ニ自然シカスル詞ヒ稱シテ自己ミガタメ
ニ其トヲ為ル性スヲ有セル詞ナリ例之ハ花ヲ見
ルハ鷺ノ音ヲ聞クハ門外へ出ヅルハ等ノ見ルハ聞クハ出

ツルノ如シ

為他詞ヒトノタダミスルコトバハ一ニ他ニ然スル詞ヒ稱シテ自他人外
物ノタメニ其トヲ為ル性スヲ有セル詞ナリ例之

ハ人ヲ招キテ花ヲ見スハ咄ハ為テ人ニ聞カスル
孰生ヲ今日ハ遊ビニ出ダスハ等ノ見スルハ聞カスルハ出
ダスノ如シ

使他為詞ヒトシテセサスルコトバハ一ニ他ニ然セサスル詞ヒ稱シテ自
ガ他人ヲシテ其トヲ為サスル性スヲ有セル詞ナ
リ例之ハ醫師ニ病ヲ見サスルハ供ノ者ニ道ヲ聞
カスルハ入費ヲ出サスルハ等ノ見サスルハ聞カスル

出サスルノ如シ

如意然詞ハ一ニ天性ニ然セラル、詞氏稱シテ
 自ガ意ニ任セテ希望スルマニク其ノ自然為
 レ得ラル、性ヲ有セル詞ナリ例之バ此頃ハヒマ
 デ充分本が見ラル、新聞ノ為ニ居ナガラ世間
 ノ珍シキヲ聞カル、今日ハ朝カラ遊ニ出ラ
 ル、等ノ見ラル、聞カル、出ラル、ノ如シ
 天然詞ハ一ニ意識ノ外ニ然ル詞氏稱シテ其ノ
 ノ知ラズ識ラズ外ヨリ我ニ來タル性ヲ有セル
 詞ナリ例之バ船ハ沖ノ方ニ見ユル鐘ノ音が遠

聞ユル月ハ山ノ端ニ出ヅル等ノ見ユル聞ユル

出ヅルノ如シ

被他為詞ハ一ニ他ニ然セラル、詞氏稱シテ自

ガ他人外物ノタメニ威カヲ蒙リ自由ニ為ラル
 、性ヲ有セル詞ナリ例之バ不行跡ヲ人ニ見ラ
 ル、他ニ聞カル、ヲ耻ヅルナラバ品行ヲ正シ
 クセヨ家ヲ追ヒ出サル、等ノ見ラル、聞カル
 、出サルノ如シ

第七章 詞轉用格例之類別

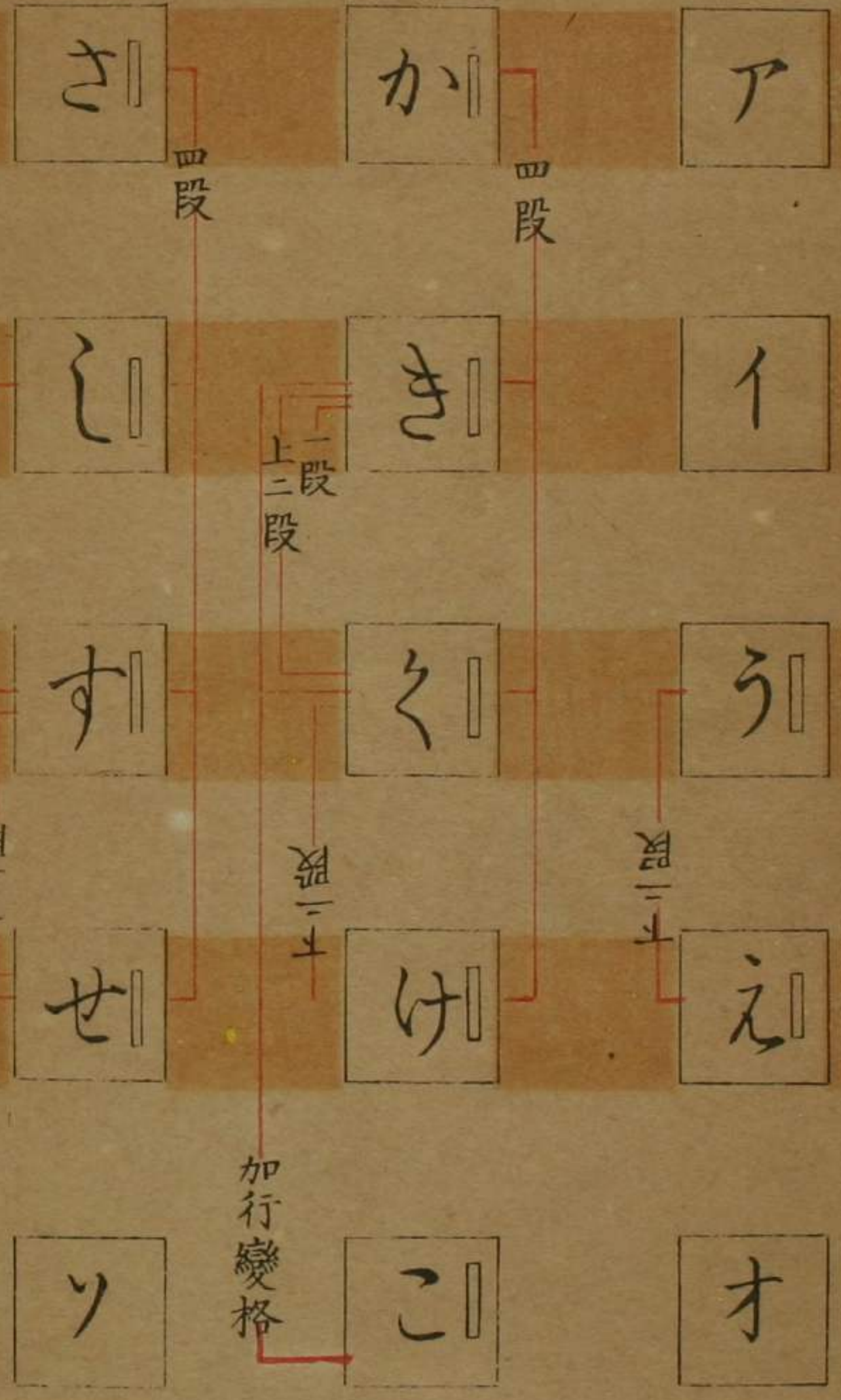
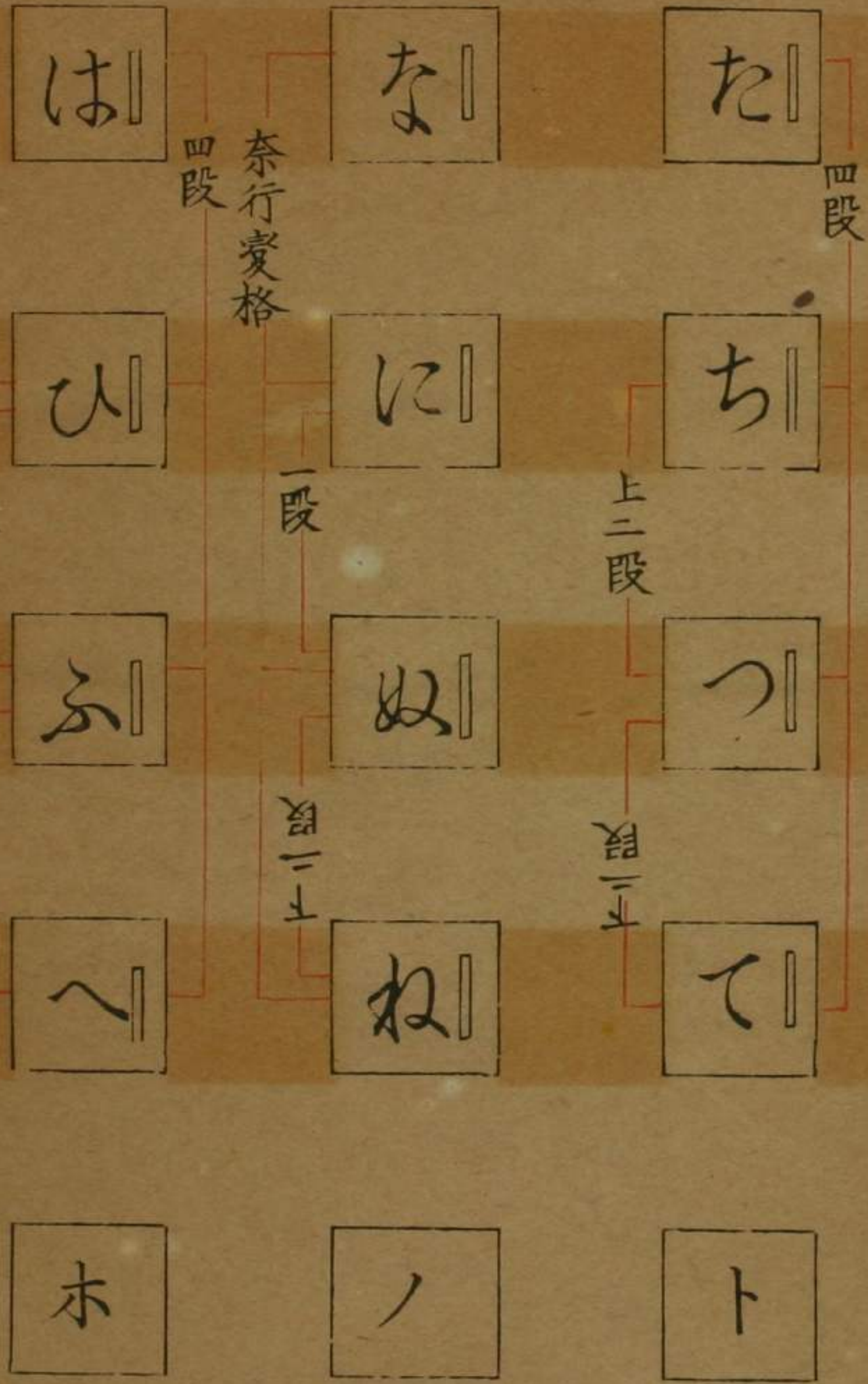
詞轉用格例トハ五十音縦行横列ノ系位ニ準則シ

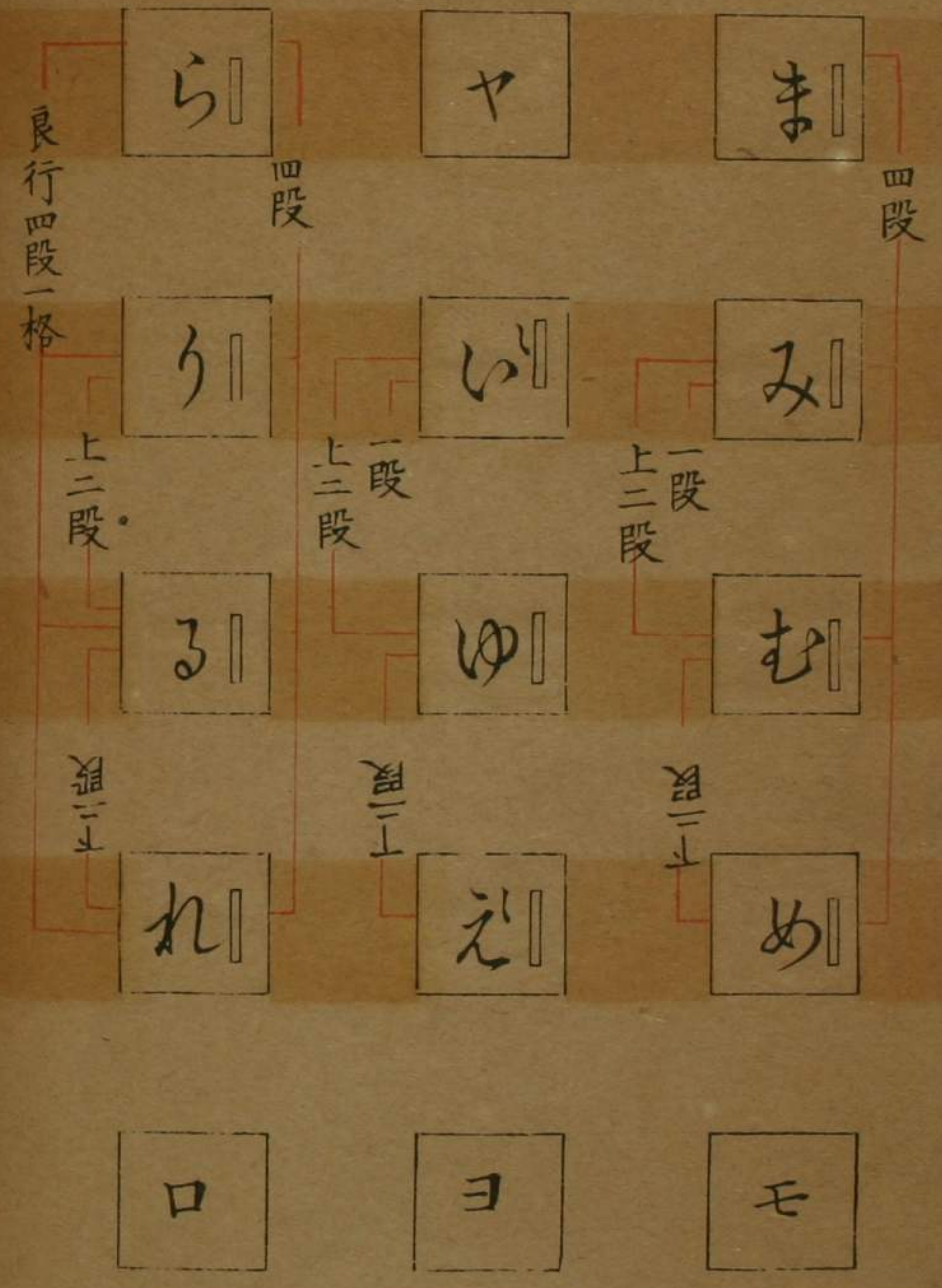
テ轉用スル詞格ニ數種ノ例アルヲ謂ヘリ是ニ
三類ノ大別アリ正格變格復格是ナリ
更ニ正格ヲ小分シテ四種トス則四段之活用二
段之活用上二段之活用下二段之活用是ナリ變
格ヲ小分シテ七種アリト雖モ煩ヲ避ケ姑ク略
シテ四種ヲ舉グベシ則加行佐行之變格奈行之
變格良行四段之一格有リ居リ之活用くしきし
くしき之活用是ナリ
復格ヲ小分シテ三十六種アリト雖モ頗冗長ニ
涉ルアリテ幼童女兒或ハ望洋ノ歎アラントヲ

恐レ姑畧シテ唯三種ノミヲ舉グベシ則四段之活用
ヨリ良行四段之一格有リニ活用ク格くしき
くしき之活用ヨリ良行四段之一格有リニ活
用ク格外國詞ヨリ佐行之變格ニ活用ク格是ナ
リ

第八章 詞轉用之系位指掌圖解

前章數種ニ轉用スル詞格悉五十音縦行横列ノ
系位ニ準則セルモノニシテ我が日本ノ活語タ
ルヤ實ニ天稟ノ妙用ニ出デ、誣フベカラザル
ノ一端ヲ指シ示ス下左ノ圖式ノ如シ





第九章 靈辭之類別

靈辭ハ言ノ運用ヲ助クルモノヲ謂ヘリ性質ニ依リテ之ヲ二類ニ大別ス副用靈辭副句靈辭是ナリ



副用靈辭ハ詞尾轉用ノ間ニ副ル靈辭ナリ即

デジ又シマシバテタリケリケンツルヌルメリ
ナリラシラシベシマジト氏ハモニヲノヨリマ
デゾヤカバド氏等ノ靈辭是ナリ
更ニ之ガ活用上ニ於テ固有性質ヲ以テ別タバ之
ヲ三種ニ小分ス則起端靈辭結尾靈辭联接靈辭
是ナリ

其二起端靈辭

起端靈辭ハ一ニ係辭カリエラス氏稱シテ句ノ端ヲ言ヒ起ス
モノヲ謂ヘリ之ガ性ヲ又更ニ輕起端重起端反
說起端ノ三ツニ分類ス

甲ニ属セルハ即チハモヘニヲノヨリマデバ徒是

乙ニ属セルハ即チゾノヤカナシ是ナリ

丙ニ属セルハ即チコソ是ナリ

甲ナルハ例之バ人ハ禽獸ニ異ナリ學識ノミナ
ラズ才モアリ等ノハモノ如シ

乙ナルハ例之バ理化學ゾワガ得意ナル語學ハ
學ビシヤイカニ等ノゾヤノ如シ

丙ナルハ例之バ志有レバコソ勉強スレ品行正
シケレバコソ人望アレ等ノコソノ如シ

其二 結尾靈辭

〔結尾靈辭〕ハ一二〔結辭〕^{ハニテラハ}氏稱シテ句ノ端ヲ起シ、意味ノ緩急ニ應ジテソレガ句尾ヲ結ブモノヲ謂ヘリ之レガ性モ亦〔輕結尾〕〔重結尾〕〔反說結尾〕ノ三ニ分類ス

〔甲〕ニ屬セルハ即チケリタリナリメリキベシス
ツ又ヨテヨソナナカレモガモガナシガシ
ガナバヤバヤナナンナ、ンカカナカモハ
ヤハモメヤメヤモカハモノカハツ、ナガラ
ラジマジレニシヲテンケンランラシマシ

等ノ如シ

〔乙〕ニ屬セルハ即チケルタルナルメルシベキヌ
ツルヌルテンケンランラシマシ等ノ如シ

〔丙〕ニ屬セルハ即チケレタレナレメレシカベケ
レネツレヌレテメケメラメラシマシカ等
ノ如シ

〔甲〕ナルハ例之バ此度ハ昇級シケリ〔彼〕ハ今日モ
試験ニ出デス等ノケリスノ如シ

〔乙〕ナルハ例之バ能ク卒業ハ為ケル何ノサシ
障アリテカ出席セヌ等ノケルヲノ如シ

〔丙〕ナルハ例之ハ用アレバコソ來ニケレ道ノ為ナレバコソ勞ヲモ厭ハネ等ノケレネノ如シ

〔其三〕聯接靈辭

〔聯接靈辭〕ハ語脈ヲ接ギ聯ネテ下文へ續クルモノヲ謂ヘリ之ガ性モ亦〔對偶聯接〕〔代謝聯接〕〔反轉聯接〕ノ三ツニ小分ス

〔甲〕ニ屬セルハ即ト是ナリ

〔乙〕ニ屬セルハ即ト是ナリ

〔丙〕ニ屬セルハ即トイヘ是ナリ

〔甲〕ナルハ例之ハ外國ト貿易ス讀書ト習字ト何

カ好キナル等ノトノ如シ

〔乙〕ナルハ例之ハ見テ來タレ學ビテ始メテ知ル

等ノテノ如シ

〔丙〕ナルハ例之ハ言ヘド用キズ呼ベズ答ヘズ智

アリ氏學バザレバ用ニ立タズ後悔ストイヘ

更ニカヒナシ等ノド氏トイヘ氏ノ如シ

〔副句靈辭〕ハ句々聯接ノ間ニ副ル靈辭ナリ即チ抑

蓋ホノト判然トメキブルア、アテ大御等等

人個千速振足引乃等ノ靈辭是ナリ

更ニ之ガ活用上ニ於テ固有性質ヲ以テ別タバ

八種ニ小分ス則チ立案靈辭形容靈辭風情靈辭感
歎靈辭尊崇靈辭復數靈辭數合靈辭冠首靈辭是

〔其二〕立案靈辭

〔立案靈辭〕ハ更ニ下文ノ案ヲ立テ、句首ニ副リ
テソレガ趣ヲ指シ示スモノヲ謂ヘリ即チ抑蓋但
且嘗テ既ニ未ダ或ハ若レ又加之就中テ却テ唯、
併然ニ備テ况ヤ即所謂例之、等ノ如キ是ナリ例之
ハ抑ソレヲ始トス蓋コレヲ通則トス等、抑蓋
ノ如シハ例之、等ノ如キ是ナリ例之、
〔其二〕形容靈辭

〔形容靈辭〕ハ語勢ヲ形容シ以テ意ヲ言外ニ示ス
モノヲ謂ヘリ即チホノぐトホガラぐトハル
ぐトソヨクトヤヲラユホビカニシメヤカニ判
然トシテ肅然トシテ卒然ト寂寥トシテ渺茫ト
シテ等ノ如キ是ナリ例之ハホノぐト夜ハシラ
ミタリ寂寥トシテモノ淋シ等ノホノぐト寂寥
トシテノ如シ

〔其三〕風情靈辭

〔風情靈辭〕ハ他ノ形狀ニ髣髴タル風情ヲ示スモ
ノヲ謂ヘリ即チメキメクメカススリブルビサビ

サブルヤカラカバミバムゲヤギヤグダチダツ
等ノ如キ是ナリ例之バ物識メカス學者ブル等
ノメカスブルノ如シ

其四 感歎靈辭

感歎靈辭ハ喜怒哀樂ノ情ヲ示スモノヲ謂ヘリ
即チアハアナアナヤアハレヤヨナヲウ、
ホ、ヨ、等ノ如キ是ナリ例之バア、嬉レ、ア、
汚穢等ノア、ア、ナノ如シ

其五 尊崇靈辭

尊崇靈辭ハ即チ崇ノ尊ム意ヲ示スモノヲ謂ヘリ

即チ大御御御御真皇大人先生貴君方殿様主
等ノ如キ是ナリ例之バ御上御布達御手ヅカラ
物タマハリ等ノ御御ノ如シ

其六 複數靈辭

複數靈辭ハ物ノ數多キヲ示スモノヲ謂ヘリ即チ
等等等輩諸諸各各等ノ如キ是ナリ例之
バ御子等女等諸人等ノ等等諸ノ如シ

其七 數號靈辭

數號靈辭ハ物品ノ度量員數ノ各稱号ヲ示スモノ
ヲ謂ヘリ即チ神人人人個個粒粒枚枚束束尋抱

本筋冊卷卷等ノ如キ是ナリ例之ハ家族二人
其書籍ハ幾卷アリヤ等ノ人卷ノ如シ

〔其八〕冠首靈辭

冠首靈辭ハ言詞ノ首ニ冠ラシメテ歌文ノ語勢
風調ヲ助クルモノヲ謂ヘリ即チ千速振久方乃足
引乃鯨魚取石上王鉞乃垂乳根之等ノ如キ是ナ
リ例之ハ千速振神久方乃天ツ空等ノ千速振久
方乃ノ如シ

第十章 語格講習之方法

日本文典ハ其法則ノ精微絶妙ナル更ニ海外文

法ノ類ニ非ザレバ口舌機轉ノ癖習ト耳底感覺ノ
習慣性トヲ以テ半記臆ノカヲ資クルニ非ザレバ
容易ニ理會徹底シガタキモノトス故ニ講習法
ヲ意匠シ以テ之ガ附録ニ記載シテ諳誦熟復ヲ
要セシム但全編ノ正鵠トスル處總テ此講習法
ノ一章ニアリトス學生此意ヲ諒知シテ孜々勉
勵セヨ

